

協20IP発18号

毎日新聞社代表取締役社長
朝比奈 豊 様

貴社英文サイト上の不適切記事について (謝罪文の要請)

ご高承のとおり、弊協会は、児童買春・児童ポルノに代表されるような、子どもに対する商業的・性的搾取に反対する立場から、現行「児童買春、児童ポルノ等禁止法」(児ポ法)法制化の原動力となり、現在もその更なる強化に努めると共にインターネット上の児童ポルノ根絶のための取り組みを強力に推進しております。児ポ法の改正については、3月から署名活動を開始し、既に8万人近い賛同の署名を得ております。このような弊協会の取り組みに対しては、ユニセフ本部や国際NGOのみならず多くの外国政府からも注目され、支持を得ております。

斯かる中で、今回貴社で起きた問題は、単に日本の品位を傷つけるのみならず、弊協会が長年に亘って児童の保護を訴え続け、その実績が海外でも認められつつある状況に冷水をかけるものであります。このような中で、弊協会に対しても「貴社に対する対応が手ぬるい」等のご批判が支援者から寄せられ、多くの方が抗議の一環として募金を停止するなどの行動に出られる等、世界の子どもの支援の上で実害すら生ずる事態となっております。

よって、(財)日本ユニセフ協会は、貴社に対して強く抗議するとともに、一般の方々からのユニセフと弊協会に対する信頼を回復するためにも、ここに文書による謝罪をもとめるものです。

2008年7月22日

赤松 良子

財団法人 日本ユニセフ協会
会長 赤松 良子

写し送付先：外務大臣 高村 正彦 様
ユニセフ議員連盟会長 衆議院議員 谷垣 禎一 様

財団法人 日本ユニセフ協会
会長 赤松 良子 様

2008年8月5日

毎日新聞社
代表取締役社長 朝比奈 豊



毎日デイリーニュース「Wa i Wa i」についてのお詫び

弊社英文サイト「毎日デイリーニュース」上のコラム「Wa i Wa i」に掲載された不適切な記事について、7月22日、財団法人日本ユニセフ協会会長、赤松良子様から抗議文をちょうだいし、謝罪文の要請を受けました。

今回の抗議を重く受けとめ、ここに深くお詫び申し上げますとともに、再発防止等についてご報告申し上げます。

2001年4月にウェブサイト上でスタートしました「Wa i Wa i」の記事が、日本の品位、名誉を傷つけただけでなく、貴協会が長年に亘って築いて来られた全世界の児童を保護する取り組みに対しても、その名誉と信頼を棄損したことについて、お詫びします。また、マンスリーサポートなど貴協会への募金が停止し多大な実害が生じているとお聞きしました。誠に申し訳なく考えております。

弊社は毎日新聞社会事業団とともに「世界子ども救援キャンペーン」を開始して今年で30年目を迎え、児童ポルノ根絶のため編集局の社会部を中心に何度も連載企画を展開するなど、他紙以上に積極的な紙面づくりに取り組んで参りました。今回の「Wa i Wa i」の記事は、その姿勢に著しく反する内容だった点についても心から反省しております。

本件につきましては、7月20日付毎日新聞本紙朝刊とウェブサイト(日本語、英語)上で社内調査の結果と第三者のご意見、再発防止の対策と決意を掲載させていただきました。毎日デイリーニュースは8月1日付で新編集長が就任し、9月1日からのリニューアルを準備しています。

今後も、ユニセフ本部及び日本ユニセフ協会様とも緊密な連携を取らせていただきながら、世界中の子どもたちが豊かで安心できる生活が送れるよう、努力を積み重ねていく所存です。

なにとぞよろしくお願い申し上げます。

写し送付先：外務大臣 高村 正彦 様
ユニセフ議員連盟会長 衆議院議員 谷垣 禎一 様